



号外 静岡3区版

平成28年1月1日
民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

静岡県第3区総支部版

民主党静岡県第3区総支部 総支部長 小山展弘
〒438-0078 静岡県磐田市市中泉656-1
電話 0538-39-1234-FAX 0538-39-1235
e-mail : n_koyama@aroma.ocn.ne.jp

衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部長

こやま 展弘

小山のぶひろ氏に聴く



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

Q 今年はどうな一年になりますか？

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。まず、経済です。

今年も実体経済は苦しい局面が続くのではないのでしょうか。GDPは低調に推移しています。その最大の理由は個人消費の伸び悩みです。これは私たちの所得の実質賃金が27か月連続でマイナスだったうえ、その後もほぼ伸び率はゼロで推移しているためです。アベノミクスなるものが主張していたトリクルダウンが起きなかったためです（これは内閣府も認めています）。多くの日本人の生活が苦しくなっているのに消費は伸びません。まさにアベノミクスは破綻しているのです。株価が調子が良いように言われていますが、年金資金のGPIFの資金を大量投入した「官製相場」とも言われています。昨年の第3四半期の運用実績では実に78兆円もの損失を出しました。大切な年金資金でリスクの大きな運用をすべきではありません。国民の生活を第一に考え、豊かにする経済を目指し、格差を是正し、実体経済を立て直していくべき時です。

Q 今年の抱負をお聞かせください。

昨年12月に民主党の国会対策副委員長を拝命いたしました。11月からは農水部門の主任の政策調査副会長も拝命していますので、国対と政調を兼ねることになり、大変な重責を担うこととなりました。農水部門では、TPP問題のほか、需要が縮小するお茶の問題、また、農協法改悪に伴う準組合員規制調査に対する監視や政省

小山のぶひろ 活動報告

令の動向にも目を光らせなければなりません。また、協同組合議員連盟の活動も、昨年の通常国会閉会後も、協同組合憲章の国会決議実現に向けた水面下の活動を地道に行ってまいりましたが、今年是实现に向けてさらに一歩踏み出していきたいと思えます。地元活動もしっかりと行いながら、議員活動も全うしたいと考えております。



農協法改正に対する衆議院付帯決議の実現(提案者)



協同組合振興研究議員連盟の事務局長に復帰。議連も活動再開!



地元の主要製造業であるオートバイの振興について議連の仲間とともに国交省等に要望



派遣法改悪阻止に向けた取組強化を連合組織内議員の皆様とともに岡田代表に要請



「協同・連帯」 「共生・安心」 の社会を創ろう



小山のぶひろのプロフィール

1975年 12月26日掛川市(旧小笠郡大須賀町)生まれ 磐田育ち
 1982年 大須賀町立横須賀幼稚園 卒園
 1988年 磐田市立磐田西小学校 卒業
 1991年 磐田市立磐田第一中学校 卒業(水泳部所属)
 1994年 静岡県立磐田南高等学校 卒業(弓道部所属)
 1999年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科 卒業
 2001年 早稲田大学大学院 政治研究科 修士課程 修了(政治学修士)
 農林中央金庫(JAバンク)入庫(2006年退職)
 2006年 松下政経塾 入塾
 日本公共政策学会入会
 2007年 民主党静岡県第三区総支部長 就任
 2009年 第45回衆議院議員選挙にて初当選
 2013年 静岡理科大学 非常勤講師(2014年まで)
 2014年 第47回衆議院議員選挙にて当選(2期目)
 現 在 農林水産委員会、災害対策特別委員会、議院運営委員会に所属
 協同組合振興研究議員連盟 事務局長
 二宮尊徳思想研究議員連盟 事務局次長
 協同組合振興研究議員連盟 事務局長
 お茶振興議員連盟 事務局次長
 連合組織内議員懇談会 事務局次長
 全国農団労 組織内議員
 民主党会計監査
 民主党農林水産部門会議 農政改革研究会 主査
 磐田市在住

- 著書…「脱占領時代の対中政策-戦後の日本は中国とどう向き合ったのか-」
- 尊敬する人物…石橋湛山、二宮尊徳、石田博英、徳川家康
- 趣味…カラオケ、B級グルメ巡り、温泉巡り、弓道(武段)、水泳
- 好物…カレーライス、とんこつラーメン
- ニックネーム…コンちゃん

● 国民の所得向上、個人消費の増加

国民の所得が増え、「生活」が安定してこそ、GDPの約6割を占める個人消費が持ち直し、経済も成長します。

税制や給付等を通じ、所得再配分政策をすすめ、国民の所得、特に働く世代若い世代の所得が増える政策を進めます。

● 社会の保障制度の信頼回復

消費税の使い途は、自動車取得税等の不合理な税制の撤廃に使うほかは、全額、社会保障制度の維持に使い、年金、介護保険、医療保険などの社会保障制度の信頼性を高め、将来も安心して「生活」できる社会を目指します。

また、国民皆保険の医療制度は、いかなることがあっても堅持し、診療報酬のプラス改定を目指します。中東遠地域の医師・看護師を確保し、救急医療体制の確立に努めます。

● 子育て支援の充実と人口問題への取組

日本の最大の課題は人口減少。このまま少子高齢化が続けば、財政の面でも、個人消費の面でも、10年後、20年後、私たちの「生活」は、もっと苦しくなります。長期的な視点で、お子さんを生み育てやすい環境の国を目指します。

● 労働法規制の改悪に反対、安心して働ける労働政策の実現

ホワイトカラー勤労者の労働時間に関する規制の緩和や、派遣社員の受け入れ期間制限の事実上の撤廃などの労働法規制の改悪に反対し、違法派遣を根絶し、安定雇用を促進します。

● 災害対策の推進とクリーンエネルギーの実用化

中東遠地区の津波堤防構築に向け、全力を尽くします。学校のさらなる耐震化(建替え・根本的な改修)と民間住宅への国の支援の拡充を図ります。小水力、バイオマス、風力、地熱等々のクリーンエネルギー、再生可能エネルギーの実用化・普及に努めます。

● 農林水産業の再生・振興

日本型直接支払制度・戸別所得補償制度の拡充に努めるとともに、米価・茶価下落対策に努めます。「リーフでお茶を飲む習慣」の振興を図り、お茶の需要・消費拡大策を推進します。

農協法変更に伴う准組合員規制調査・員外利用規制調査にあたっては、地域の現状を踏まえた調査となるように行政を監視するとともに、「地域インフラとしての農協」がいきいきと活動できる環境づくりに努めます。

● 協同組合・NPOの振興と「新しい公共」の拡充

自立した個人の助け合いの組織である協同組合の発展に努め、「協同組合憲章」や「協同組合基本法」の成立に全力を尽くします。

NPOや協同組合などの「新しい公共」分野の拡充のため、税制改正をはじめとする政策を実現します。



今年も府八幡宮の祭典に志組の中老として参加



森町にて今後の農業を考える農政懇談会を開催。農家の皆様の声を伺う



街頭活動も定期的に行っています



磐田市弓道協会に所属

メールマガジン配信中!! 小山のぶひろの日本や郷土への想い、政治への熱い想い、活動報告などをメールに託してお届けいたします。

PC版 <http://www.n-koyama.com/mail>にアクセス

携帯版 n-koyama@67827.r.at-ml.jp

またはQRコードから空メールを送信で登録

